

令和8年2月5日

長野市長 荻原 健司 様

長野市歴史的風致維持向上協議会  
会 長 高見澤 秀茂

長野市歴史的風致維持向上計画の令和7年度進行管理・評価及び  
計画の変更について（答申）

令和7年8月1日付け7まち第184号で諮問のありましたこのことについて慎重に審議した結果、当協議会の意見等は下記のとおりです。

記

- 1 令和7年度進行管理・評価について  
令和7年度進行管理・評価に関する意見等は、別紙のとおりです。
- 2 計画の変更について  
原案のとおり了承します。

## 法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和7年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称 : 令和7年度 第2回長野市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時 : 令和8年2月5日(木) 午前10時から午前11時42分まで	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松代を訪れる方の交通はバスなのか、タクシーなのか。また、長野駅からのアプローチや、どのようなアナウンスにより松代まで来られたのかなどを調べることにより、次につながるのではないかと。</li> <li>・ 進捗評価シートについて、ほとんどの事業で実施・検討にあたっての課題と対応方針が書かれていない。事業の成果が上がればそのまま継続という方針となる。逆に、課題があれば対応も必要となる。市民の方々に、こういうことを実施して成果があったとPRすることにもなるので、課題や対応方針などの記載が必要。</li> <li>・ 資料に予定とか、〇月時点と書いてあるが、3月に公表するのであれば、時点修正が必要。</li> <li>・ ホームページで公表しているとはいえ、市民が歴史的風致維持向上協議会についてどのくらい知っているのか。観光振興に結びつけることも大事であるが、地域の住民が誇りに思い、それを継承していくことが一番大事なことはないか。各部署の取り組みが市民に伝わって、みんなで何かをやろうという機運が全体で感じられない。参加者数だけでなく、市民の声みたいなものをそこに反映させ、長野市の生き生きとした取り組みが伝わるような報告にすべきではないか。</li> <li>・ (5)-1、松代町文化財保存活用推進事業について、老朽化にともない真田宝物館の建て替えが計画され、民間ノウハウを活用しながら、真田宝物館だけでなく、松代にたくさんある宝を活用し、経済的にきちんと回るようなエリア全体の提案が示されることで、この地域の活性化が図られるのではないかと。また、民間企業の誘致にもつながり、活性化の活路になるのではないかと。</li> <li>・ 松代に民間企業が乱暴に入ってきて、松代の大事なところを損なうとか、地域住民を無視して開発を進めることとしてはならない。</li> <li>・ 新たな松代の計画により、松代の泉水など大事な環境を生かしたまちづくりの第一歩になり、善光寺や戸隠など他のエリアにも広がる取り組みとなることを期待する。</li> </ul>	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各委員のコメントを参考として、次年度以降の事業を実施。</li> </ul>	